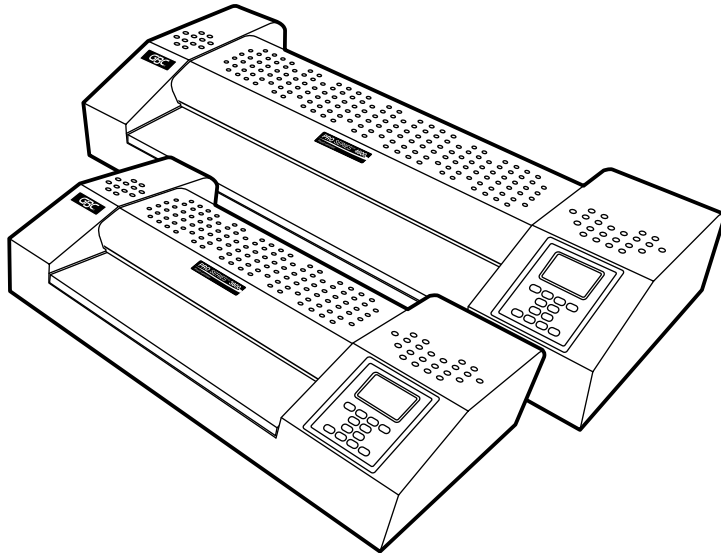




# 取扱説明書

## パウチラミネーター プロシリーズ P3600 / P4600



アコ・ブランド・ジャパン株式会社

### はじめに

このたびは弊社パウチラミネーターをお買求めいただき、ありがとうございました。  
ご使用になる前に、必ず取扱説明書をよくお読みいただき、未永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。  
本取扱説明書は必ず保管してください。

### 目次

1.内容物の確認	1
2.ご使用上の注意	2
3.各部の名称と働き	4
4.ラミネート作業上の注意	6
5.操作方法	9
6.お手入れ方法	14
7.こんなときは	15
8.製品仕様	16

### 保証とサービス

#### お客様へ

小さなお子様自身の使用、または小さなお子様がいらっしゃる環境での使用は絶対にしないでください。  
また使用しない時は、電源プラグを抜いてください。

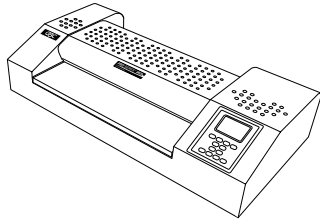
本機はパウチフィルムの糊を溶かすためにヒーターを使用しております。ヒーター使用機器は使用初期に若干の発煙・臭気が発生することがございます。製造上の制約で、完全に無くすることが出来ませんのでご理解下さい。これは使用回数を経ることで減少しますが、数回使用しても発煙・臭気が減少しない場合は使用を中止し、弊社お客様相談窓口にご相談ください。

本機は制振性を高めるために底面にゴム製の足(ゴム足)を使用しております。一般に、ゴム製品に接する面の材質によっては(特にビニル系)接触すると褐色に変色することがあります。  
本機を置く場所の材質によって、変色を避けるためゴム足が直接触れないようにマット等の保護材を使用してください。

## 1・内容物の確認

下記のとおり、本体及び付属品が同梱されていることを確認してください。

マシン本体



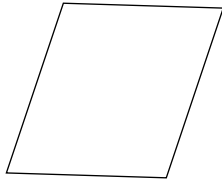
電源コード(アース端子付)



必ずアース線を接続してご使用ください。  
電源プラグをコンセントへ接続する前に、必ずアース線を接続してください。  
また、アース線を外す時は必ず電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。

付属の電源コードは、本機専用です。  
他の電気機器ではご使用できません。

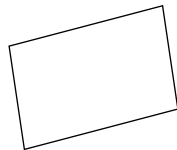
クリーニングペーパー



取扱説明書(本書)





ラミネーター使用時の注意書き



お手元に置いてご使用になることをお勧めします。

## 2・ご使用上の注意

### 表示の意味

-  **警告** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
-  **注意** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみが発生が想定される内容を示しています。

安全にご利用いただくために、下記の注意事項を必ずお守りください。

### 警告



危険ですので、お子様には絶対に使用させないでください。  
思わぬけがをする恐れがあります。



マシンの上面およびラミネート直後の加工物は高温になっていますので、注意してください。  
高温のため、やけどをする恐れがあります。



ネクタイ・ネックレス・髪などを引き込まれないようにしてください。  
けがをする原因になることがあります。  
万一引き込まれたときは電源ボタンを「オフ」にして取り除いてください。



濡れた手で電源プラグを扱わないでください。  
感電の恐れがあります。



電源コードを傷つけたり、加工したりしないでください。また、コードの上に重いものをのせないでください。  
火災、感電の恐れがあります。

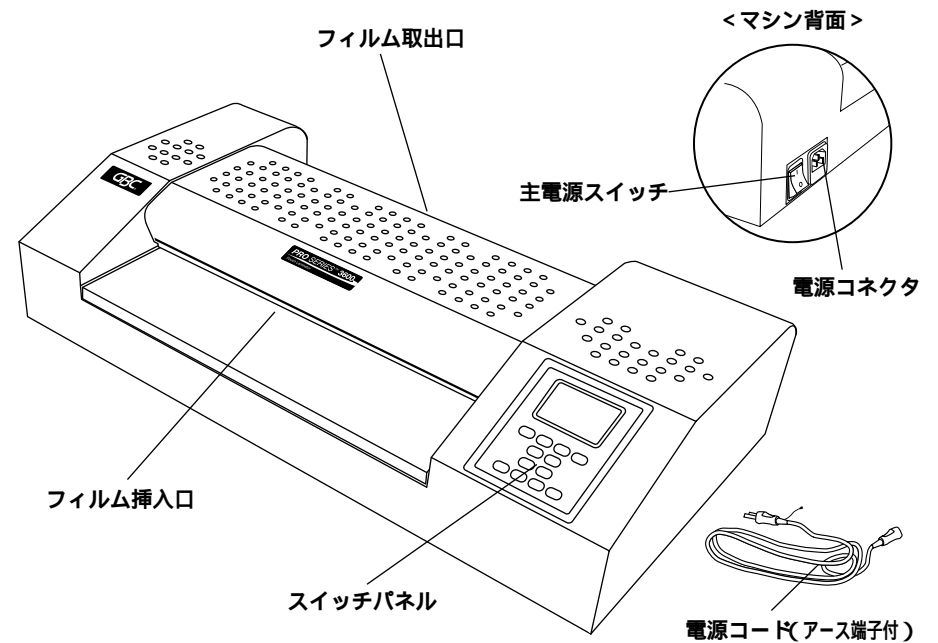


ご自分で分解、改造、修理をしないでください。  
感電や思わぬけがをする恐れがあります。



本体内部へのエアスプレイの使用は絶対にしないでください。  
発火する恐れがあります。

## 3・各部の名称と働き

**フィルム挿入口**

パウチフィルムにラミネートするものはさみこんで、必ずパウチフィルムのシール部(接合部)側から挿入します。

**フィルム取出口**

ラミネートされたものがここから排出されます。排出されたフィルムを取り出してください。

**スイッチパネル**

全ての操作はスイッチパネル上にあるボタンで行います。また、ディスプレイ上に設定状況等が表示されます。(詳細は別記)

**主電源スイッチ**

このボタン押しで、電源をオン( I )・オフ( O )します。オン( I )の時はディスプレイが表示されます。使用しない場合は、必ずオフ( O )にしてください。

**電源コネクタ**

電源コネクタに、付属の電源コードを差し込んでください。

**電源コード(アース端子付)**

電源コードを、AC100V のコンセントへ差し込んでください。アース端子はアースターミナルのあるコンセントが、適切な接地のできる端子に接続してください。



万一、煙が出たり、変な臭いがあるなど、異常な状態になりましたら、使用を中止して、電源プラグを抜いてください。  
火災、感電の恐れがあります。

**注意**


本機は紙専用のラミネーターです。他の目的に使用しないでください。



絶対に可燃物(セロハン等)、軟化しやすい物(塩ビ、ポリエチレン)は入れないでください。  
火災の恐れがあります。



ラミネーター操作中はそばを離れないでください。  
また、加工を終了した場合は電源スイッチを必ずオフにしてください。



絶対に本体の上に物を置かないでください。  
本体上面は高温になります。



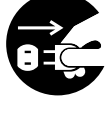
本機は必ず平らな所へ設置し、フィルム取出口側からラミネートしたものを取り出せるスペースを取ってください。



冷暖房のそば、高温多湿な場所、埃の多い場所で使用しないでください。  
火災、感電の恐れがあります。



本機に水などをかけないでください。  
火災、感電の恐れがあります。



電源プラグを抜く時は必ずプラグ部を持って抜いてください。  
火災、感電の恐れがあります。

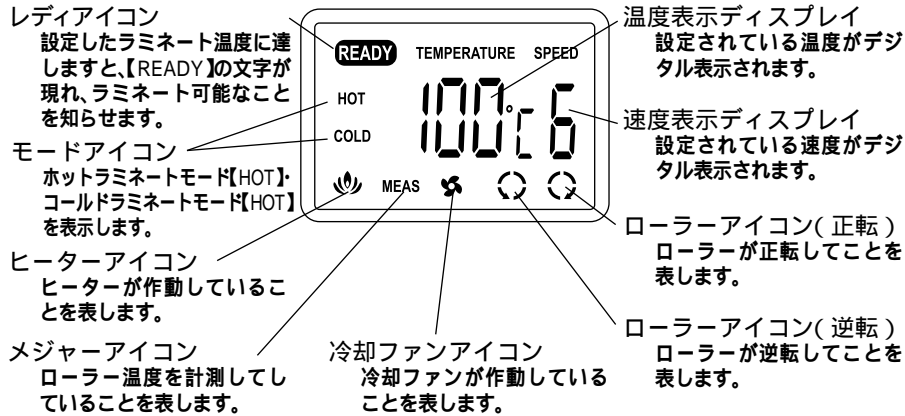


必ずコンセントの近くで本機を利用し、電源プラグが容易に着脱できるように、コンセントの近くにもものをおかないでください。

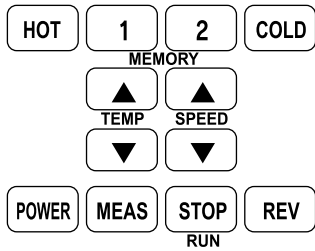


電源は、延長コードを含め、定格15A以上・交流100Vのコンセントを必ず単独でご使用ください。タコ足配線はしないでください。  
感電や発熱による火災の原因になります。

<ディスプレイ部>



<ファンクションボタン>



**POWER** 電源ボタン  
このボタンを1秒間押し続けて、電源のオン・オフを行ってください。クーリングモードになり、ヒーターが冷却され、約4分後に自動的に電源がオフになります。その後、マシン背面の主電源スイッチで電源オフにしてください。ホットラミネート後は、すぐにマシン背面の主電源スイッチで電源オフにしないでください。

**MEAS** 温度表示ボタン  
現在のローラー温度を知りたい時に押してください。押している時だけ現在のローラー温度を表示します。

**STOP** ストップボタン  
このボタンを押している間だけローラーは停止します。

**REV** リバースボタン  
このボタンを押し続けると、ローラーは逆転してラミネート途中のフィルムを挿入口より戻すことができます。ボタンから手を離すと、ローラーは正転します。

**TEMP** 温度調整ボタン  
このボタンを操作して、温度を設定します。上げる場合は【▲】を、下げる場合は【▼】を押してください。

**SPEED** 速度調整ボタン  
このボタンを操作して、速度を設定します。上げる場合は【▲】を、下げる場合は【▼】を押してください。

**HOT** ホットラミネートボタン  
ホットラミネート加工の場合に使用し、このボタンを押すと、「温度100 /速度6」に設定されます。

**1** メモリーボタン【1】  
このボタンを押すと、「温度100 /速度7」に設定されます。

**2** メモリーボタン【2】  
このボタンを押すと、「温度100 /速度5」に設定されます。

**COLD** コールドラミネートボタン  
コールドラミネート加工の場合に使用し、このボタンを押すと、ヒーターはオフになり、加熱されません。

4・ラミネート作業上の注意

ラミネートは熱を加えて圧着しますが、操作の手違いにより失敗したり、フィルムを巻き込んだりすることがあります。次のようなラミネートはやめてください。

ラミネートするもの

このラミネーターは紙専用です。金属・ビニール製品・布・木片等はラミネートしないでください。紙でもコーティング処理された紙や油分を含むコート紙やユゴ等はラミネートしないでください。

和紙・感熱紙・クレヨン画など熱により変色変質する紙はラミネートしないでください。可燃物(セロハン等)・軟化しやすい物(塩ビ、ポリエチレン等)は絶対にラミネートしないでください。

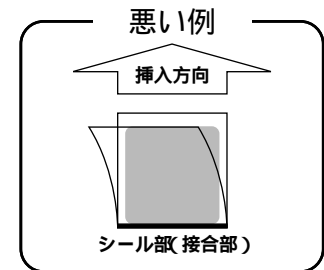
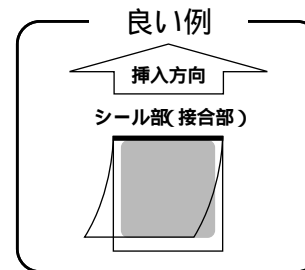
再生することが不可能なような貴重なものをラミネートしないでください。フィルムを含めて厚さ3mm以上になるものはラミネートしないでください。インクジェットプリント用紙はテスト加工をしてから加工してください。

貴重品、複製不可能なものを加工する場合は、必ずテスト加工をして仕上がりを確認してから加工してください。

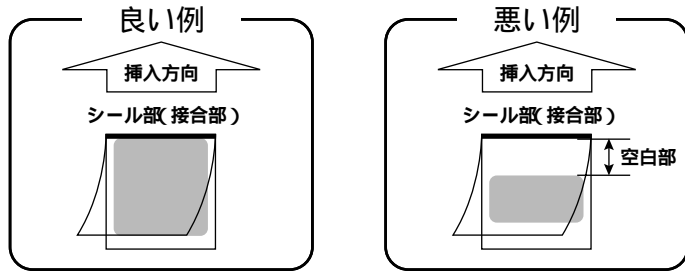
ラミネートするとき

**重要** ご使用になる前に必ずお読みください。

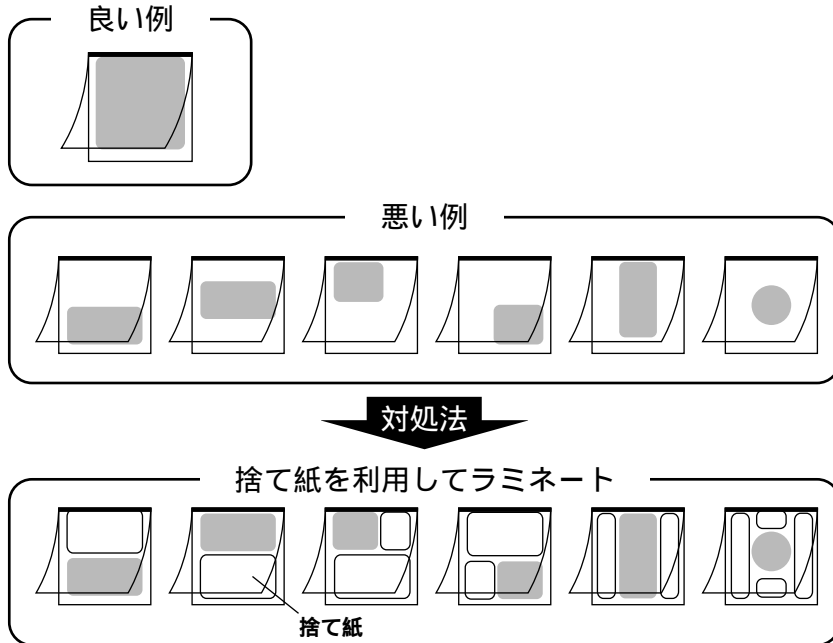
パウチフィルムは必ずシール部(接合部)からラミネーターに入れてください。絶対にパウチフィルムのシールされていない側から入れないでください。詰まりの原因となります。



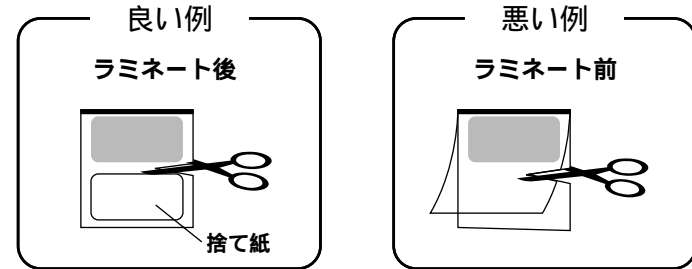
パウチフィルムのシール部(接合部)奥まで詰めて加工物をセットしてください。  
挿入方向に空白部分があるとフィルムがカールして詰まりの原因となります。



加工物のサイズに合ったフィルムをご使用ください。  
フィルムサイズに合わない加工物は、捨て紙を使用してラミネート加工してください。  
フィルム先端部に余白部分を作らないようにしてください。  
余白部分が多い場合はフィルム内部の糊がにじみ出て、糊がローラーに付着して故障の原因となります。  
凹凸のあるものはラミネート加工には適しておりません。故障の原因となります。



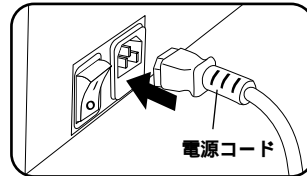
ラミネートする前に、パウチフィルムをカットしないでください。詰まりの原因となります。  
捨て紙を使用してラミネートした後、カットしてください。



<b>⚠ 注意</b>	
	間違った使用方法でご使用になりますとフィルムが本機内部に詰まって故障の原因となります。(有償修理対象となります。)

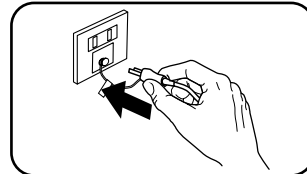
## 5・操作方法

付属の電源コードをマシン背面にある電源コネクタに奥まできちんと接続してください。

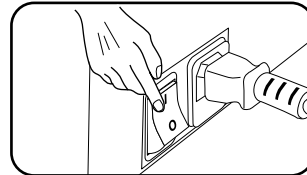


必ず付属の電源コードを使用してください。

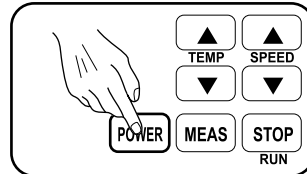
主電源スイッチがオフ (O) になっていることを確認してください。アース端子をアース接続した後、コンセント(AC100V)に差し込んでください。



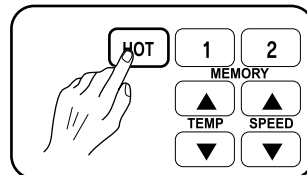
マシン背面にある電源スイッチをオン (I) にしてください。



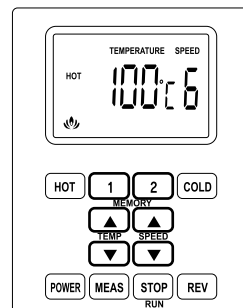
スイッチパネルにある電源ボタン【POWER】を、1秒間押し続けてください。



その後、スイッチパネルにあるホットラミネートボタン【HOT】を押してください。ウォームアップを開始します。



使用するフィルム・ラミネートするものに合わせ(設定目安表を参照)ファンクションボタンを操作して、温度・速度を設定してください。  
ホットラミネートボタン【HOT】を押すと、「温度100 /速度6」が設定されていますので、温度設定ボタン・速度設定ボタンで設定値を変更してください。ディスプレイに設定温度・速度が表示されます。メモリーボタン【1】は「温度100 /速度7」が、メモリーボタン【2】は「温度100 /速度5」が設定されています。



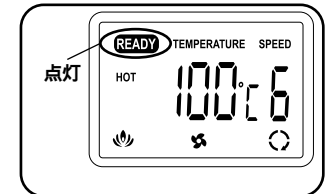
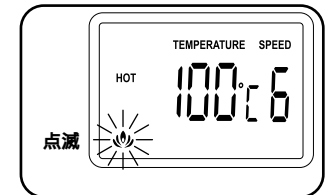
### 設定値目安表

加工物	フィルム厚	設定温度	設定速度
コピー用紙	100 ミクロン	100	6
	150 ミクロン	120	4
カタログ	100 ミクロン	100	5
	150 ミクロン	120	3
写 真	100 ミクロン	100	4
	150 ミクロン	130	3

左記にないフィルム厚と加工物の組み合わせをラミネートする際は、必ず事前にテスト加工して、仕上がりを確認してください。

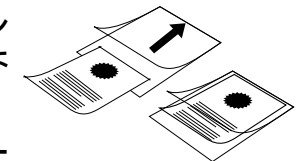
温度が高すぎるとフィルム詰まりの原因となることもありますので、数字の低い設定でテスト加工して、適切な温度設定を確認してください。

ウォームアップ中はヒーターアイコン(赤)が点滅します。約6分後にウォームアップ完了しますと、レディアイコン(赤)が点灯し、ピーブ音がラミネート可能なことを知らせます。  
設定温度により時間は異なります。



### 重要

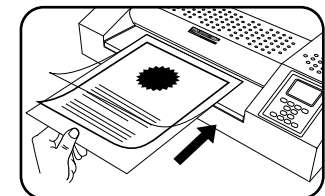
ラミネートするものをパウチフィルムのシール部全巾(接合部)の奥まで余白のないようにきちんと入れてはさんでください。




ウォームアップが完了するまで、ラミネート用フィルムを通さないでください。

貴重品、複製不可能なものを加工する場合は、必ずテスト加工をして仕上がりを確認してから加工してください。


シールされた側からフィルムをフィルム挿入口へまっすぐに差し込んでください。




**警告**

 マシンの上面およびラミネート直後の加工物は高温になっていますので、注意してください。  
高温のため、やけどをする恐れがあります。

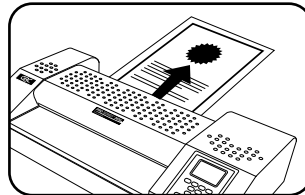
**警告**

 ネクタイ・ネックレス・髪などを引き込まないようにしてください。  
けがをする原因になることがあります。  
万一引き込まれたときは電源ボタンを押し、「オフ」にして取り除いてください。

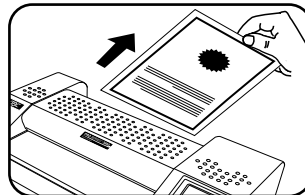
**注意**

 間違った使用方法でご使用になりますとフィルムが本機内部に詰まって故障の原因となります。

パウチフィルムがマシン背面のフィルム取出口から出てきます。



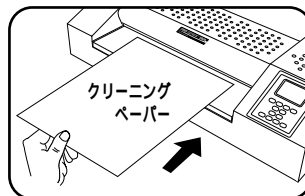
ラミネートされたフィルムをマシンから取り出し、平らなところへ置いてください。約1分間冷却して完了です。



**連続ラミネートをする場合**

連続してラミネートする時は、必ず前にラミネートしたものをフィルム取出口から取り出した後で、次のパウチフィルムをフィルム挿入口に入れてください。

ラミネートが完了しましたら、ローラーを清掃するために、同梱のクリーニングペーパーをフィルム挿入口より入れてください。この作業を数回繰り返してください。(温度が高い状態の時に実施してください。)



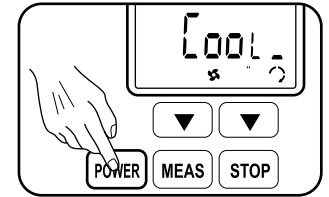
**ローラークリーニング**

ローラーが汚れていますとフィルムを巻き込む原因となりますので、加工後は必ずクリーニングを行って汚れを取り除いてください。

クリーニングペーパーがない場合は、厚手の紙(画用紙程度の厚さ、200g/m<sup>2</sup>程度の厚さの用紙)を使用してください。

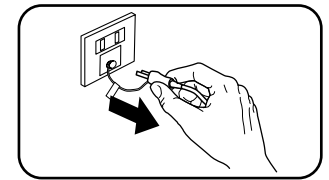
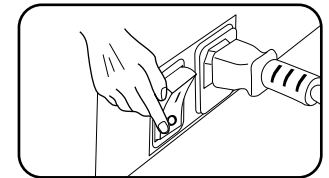
二つ折りにした紙を使用する場合は、必ず折った方から入れてください。また、コピー用紙等、薄手の用紙を使用すると巻き込む恐れがありますので、使用しないでください。

ローラークリーニングが終了したら、電源ボタン【POWER】を、1秒間押し続けてください。クリーニングを開始します。  
クリーニングが完了するまで、マシン背面にある主電源スイッチをオフ〇にしないでください。



約4分後、ディスプレイの「Cool」の文字が消えてからマシン背面にある主電源スイッチをオフ〇にしてください。

また、安全のためにコンセントから電源プラグを抜いておいてください。



**スタンバイモード**

使用中に一時作業を中断する時は、ファンクションボタンを操作して設定を「温度70 /速度2」のしてください。スタンバイ(準備)状態になります。  
再度使用する場合は、適正な設定値にして、レディアイコン(赤)の点灯をお待ちください。

**オートシャットオフ機能**

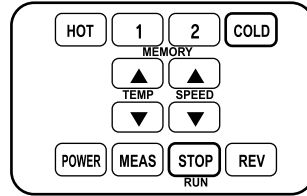
電源が入ったまま約2時間以上ご使用されない場合は、自動的に休止します。  
再度ご使用になる場合は、電源ボタン【POWER】を押し続けて電源を入れ、ご使用ください。

**コールドフィルム(常温接着フィルム)をラミネートする場合**

コールドラミネートする場合は、ホットラミネートする前に行うようにしてください。ホットラミネート後ヒーター温度が下がるまで時間を要します。

コールドラミネートボタン【COLD】を押してください。

ディスプレイ上に【READY】が表示されましたら加工できます。  
ホットモードでラミネートしていた場合は、ローラー温度が下がるまで【READY】は表示されません。

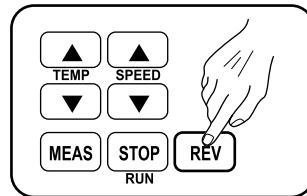


加工開始時は【STOP】<RUN>ボタンを押して、ローラーを回転させてください。再び【STOP】<RUN>ボタンを押すとローラーの回転が止まります。

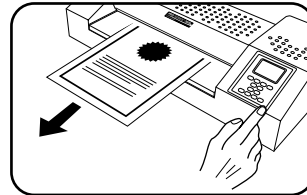
**フィルム詰まりトラブル解消方法(リバースボタン【REV】)**

ラミネート加工時に、フィルム取出口から加工されたものが出てこない場合は、全てのフィルムが機械内部に引き込まれる前に下記のような処置をしてください。

直ちにスイッチパネルのリバースボタン【REV】を押してください。押し続けている間、ローラーは逆転します。

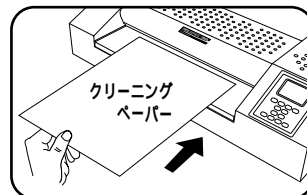


加工物の全てがフィルム挿入口から排出されるまでリバースボタン【REV】を押し続けてください。



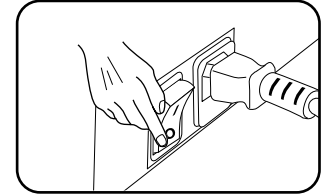
必ずローラーをクリーニングしてください。

11ページのローラークリーニングを参照。

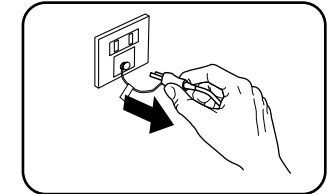


**6・お手入れ方法**

マシン背面にある主電源スイッチをオフ「O」にしてください。

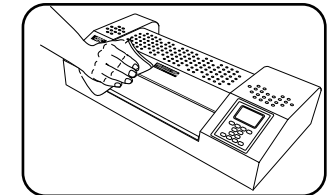


電源プラグをコンセント(AC 100V)から抜いてください。



やわらかい布でから拭きをしてください。

お手入れはマシン本体の外部だけにしてください。



汚れがひどい時は、中性洗剤をごく少量だけ布につけて拭いてください。  
シンナー・ベンジン等化学薬品は変色・変形・傷などの原因となりますので使用しないでください。

**警告**



ご自分で分解、改造、修理を絶対にしないでください。  
感電や思わぬけがをする恐れがあります。



## 7・こんな時は

現象	原因	対処法(参照ページ)
電源が入らない	電源プラグが正しくコンセントに入っていますか？ 主電源スイッチが入っていますか？ 電源ボタン【POWER】を押しましたか？	電源プラグを正しくコンセントに入れてください。(9ページ) マシン背面の主電源スイッチをオン「I」にしてください。(9ページ) スイッチパネルの電源ボタン【POWER】を1秒間押し続けて電源を入れてください。(9ページ)
ホットラミネートができない	ホットラミネートボタン【HOT】を押しましたか？ ディスプレイに「READY」が表れていますか？ クーラーの冷気が直接当たっていませんか？	ホットラミネートボタン【HOT】を押してください。ウォームアップを開始します。(10ページ) ウォームアップが完了し、「READY」が表れるまでお待ちください。(10ページ) クーラーなどの冷気から離してご使用ください。(3ページ)
ラミネートフィルムがはがれる	紙以外の材質のものをラミネートしていませんか？	紙専用のラミネーターです。紙以外のものはホットラミネート加工をすることができません。また、コーティング処理された紙、油分を含む特殊紙は加工できません。(6ページ)
ラミネートされた加工物が波を打っている	ラミネート温度が高すぎます。	設定調整ボタンを押して、設定温度を下げるか、設定速度を上げてください。(9ページ)
ラミネートされた加工物の表面が曇っている	ラミネート温度が低すぎます。	設定調整ボタンを押して、設定温度を上げるか、設定速度を下げてください。(9ページ)
ラミネートフィルム表面が汚れる	ローラーのクリーニングをしていますか？	同梱のクリーニングペーパー、もしくは厚手の紙を使用して、ローラーをクリーニングしてください。(12ページ)
ラミネートフィルムが取出口から出てこない	パウチフィルムがラミネーターの中に詰まっています。	リバースボタン【REV】を押し続けて、フィルム挿入口側から詰まった加工物を戻してください。(13ページ)

## 8・製品仕様

商品名	パウチラミネーター プロシリーズ	
	P3600	P4600
品番	GLMP3600	GLMP4600
サイズ(W) x (D) x (H)	540 x 271 x 112 mm	691 x 271 x 112 mm
質量 kg	15.0 kg	20.0 kg
電源	AC 100 V, 50/60 Hz	
定格消費電力	1,050 W	
ローラー本数	6本	
最大ラミネート幅	A3 (330mm)	A2 (480mm)
最大ラミネート厚	3 mm	
最大使用フィルム厚	250 μm	
ラミネート速度	1,400 mm/分(50/60Hz)	1,200 mm/分(50/60Hz)
ラミネート温度	0 ~ 140	
加熱方式	外部加熱方式	
ウォームアップ	約6分	
オートシャットオフ機能	約2時間後	